

スタイルシフトウォール用引戸 施工説明書

説明書番号

MI-1471A

表 改-1

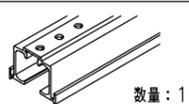
■本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味 |
|------------|--|
| お願い | 取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されますので、「必ず行なっていたく事」を示しています。 |

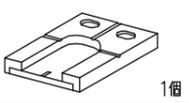
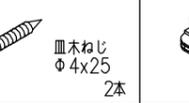
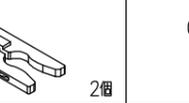
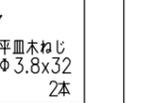
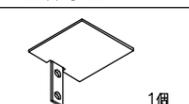
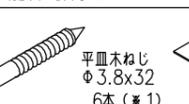
- ◆上レール取付け部・縦枠取付け部には必ず、天井下地補強材・縦枠取付け補強材が入っていることを確認してください。
- ◆本商品は一般住宅・室内用ですので用途以外のご使用は避けてください。
- ◆取付・建込後は必ず建付調整を行ってください。
調整不良は作動不良や異音の発生原因となります。
- ◆商品の保管は直射日光のあたる場所や常に湿気がある場所を避けてください。
- ◆撤去後、天井・床・壁にはビス跡が残ります。タッチアップによる補修を原則としますが、補修跡が残るため、あらかじめお客様には了解を得てください。

■梱包内容 **お願い** 組立の前に部材・部品の数や種類の確認をしてください。

■部材

| 上レール | 上レールアタッチ | 縦枠 |
|---|--|--|
|  数量：1 |  数量：2 |  数量：1 |

■上吊り部品セット (SE-1830) 内容一覧

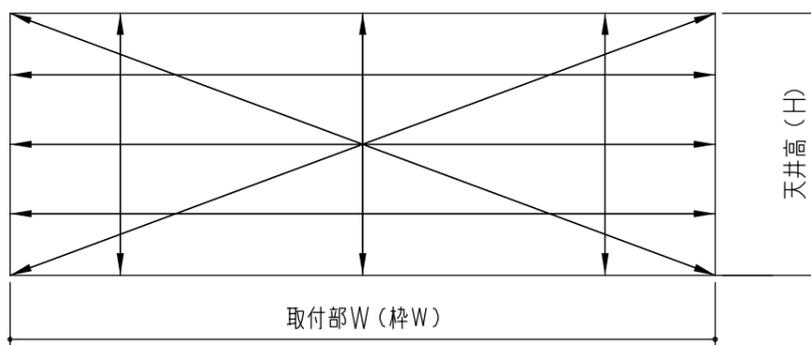
| | | | | | | | | |
|---|--|---|---|---|--|--|--|--|
| ・床付マグネット受け  1個 | ・床付マグネット受け取付ビス  丸皿木ねじ φ3.1x20 2本 | ・上レール取付ビス  平皿木ねじ φ3.8x32 6本(※1) | ・ガイドピン  1個 | ・ガイドピン取付ビス  皿木ねじ φ4x25 2本 | ・引戸専用ストッパー  2個 | ・上戸車  2個 | ・ストッパー金具  1個 | ・ストッパー金具取付ビス  平皿木ねじ φ3.8x32 2本 |
| ・上枠小口カバー  1個 | ・上枠小口カバー取付ビス  平皿木ねじ φ3.8x32 2本 | ・縦枠取付ビス  平皿木ねじ φ3.8x32 6本(※1) | ・孔塞ぎシール(丸)  6個(※1) | ・隙間隠しタイト材  (L=150mm) 3本 | (※1 使用数量より多めに入っています。) | | | |

■設置場所の寸法測定

設置場所の測定を右図のように行ってください。

- 取付部W寸法=枠Wとしてください。
- H方向対応は±2mmまで対応可能です。

お願い 図のように測定を行い、寸法を確認してください。
施工が不十分な場合、床を擦ったり、隙間が出る原因となります。



■設置条件及び確認

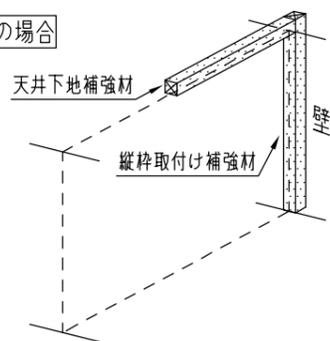
1 幅木、廻縁の寸法の確認

- ・幅木は厚さが16mm以下であることを確認してください。幅木の厚さが16mmを超えるものには対応していません。また、本製品の縦枠にある幅木用の切欠きは高さ40mm x 厚さ7.4mm用の加工になっています。それを超える幅木をご使用の際は、現場加工が必要になります。
- ・廻縁は厚さが16mm以下であることを確認してください。廻縁の厚さが16mmを超えるものには対応していません。また、本製品の縦枠には廻縁用の加工がありません。廻縁が付いている場合は現場での加工が必要になります。

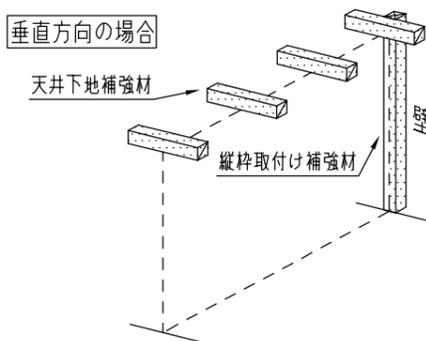
2 取付け補強材の確認

- ・設置場所には天井下地補強材・縦枠取付け補強材が必要になります。各補強材が通っていることを確認してください。
- ※下図いずれの場合も、必ず必要なビス全てが天井下地補強材に確実に止められるようにしてください。
- ※ストッパー金具、小口カバーの取付け部は天井下地補強材が必須となります。(MI-1471B表 『ストッパーの取付』の図を参照ください。)

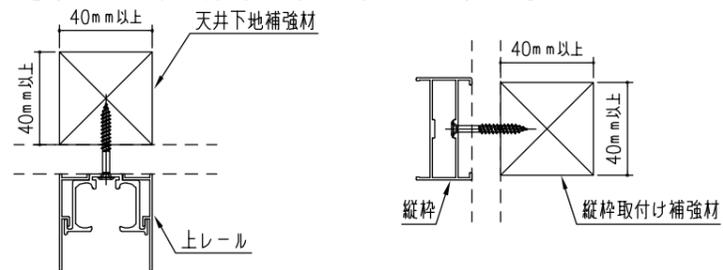
水平方向の場合



垂直方向の場合



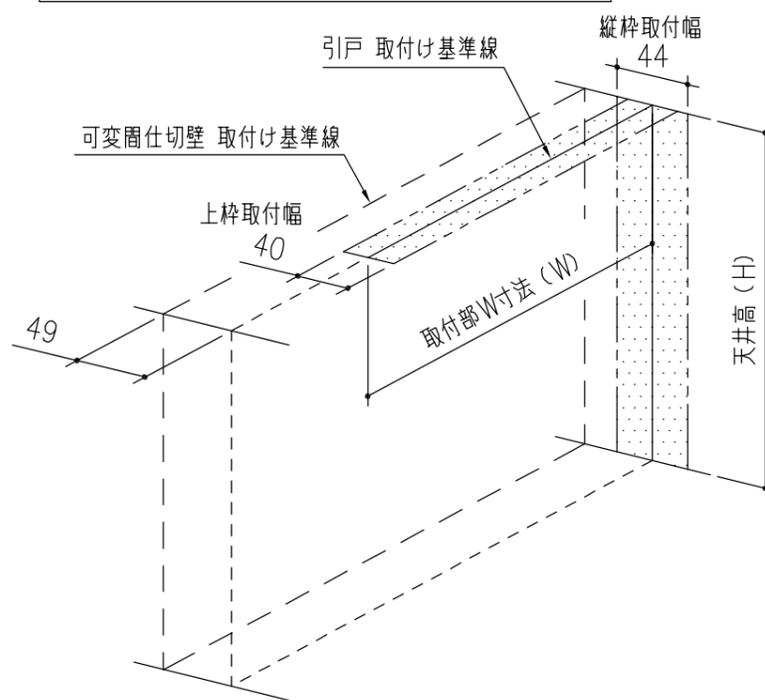
※天井補強下地材・縦枠取付け補強材は40mm角以上の木材を使用してください。



3 位置出しとマーキング

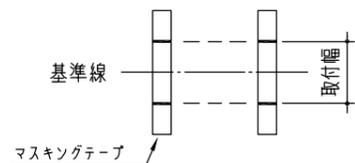
『可変間仕切壁』のセンターとなる基準線から平行に49mmの位置に引戸枠取付けのセンターとなる基準線の位置出しを行ってください。基準線をセンターに天井・壁それぞれに、上レール・縦枠の必要取付幅をマーキングをしてください。

必要取付幅 上レール：40mm、縦枠：44mm

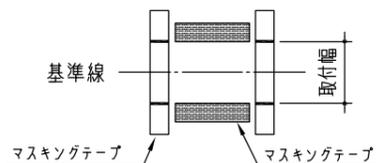


■マーキング方法例

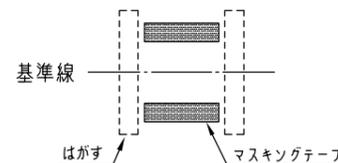
① 基準線に対して垂直にマスキングテープを貼り各部材の取付必要幅を基準線をセンターにマスキングテープ上にマーキングしてください。



② マーキングに合わせて基準線に平行にマスキングテープを貼ってください。



③ ①でマーキングをしたマスキングテープをはがしてください。これで残ったマスキングテープが取付幅を示すマーキングとなります。



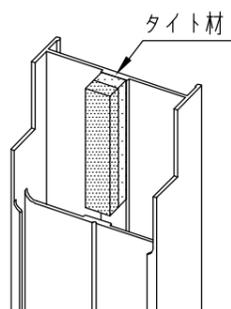
■ 枠の取付け

1 縦枠の取付け

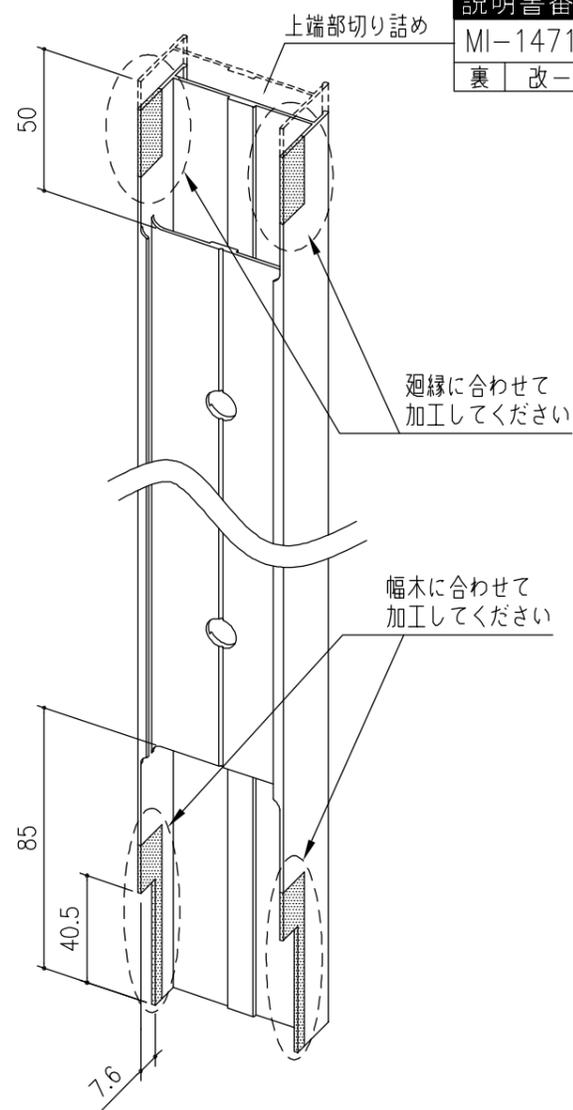
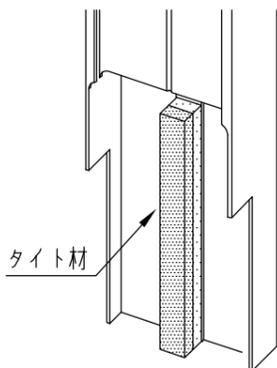
- 1-1 設置箇所の天井高(H)を測定し、縦枠のL寸が天井高に合うように上端側を切り詰めてください。
(マグネット受けが付いている方が下側になります。)
長すぎると天井・床材を傷つける恐れがあります。短いと天井・床材との隙間があく恐れがあります。
- 1-2 廻縁・幅木がある場合は、縦枠上端部・下端部をご使用の廻縁・幅木寸法に合わせて加工してください。
上端部(廻縁部)：廻縁がある場合は、ご使用の廻縁サイズに合わせて加工してください。
下端部(幅木部)：厚み7.4mm、高さ40mm設定の加工がされています。
幅木が設定サイズを超える場合は、ご使用の幅木サイズに合わせて加工してください。

- 1-3 加工箇所に、ビスセットと同梱されているタイト材(L=150mm)を廻縁・幅木厚さに合わせて貼り付けてください。(※1)

(※1) ご使用の廻縁・幅木の厚みによって タイト材の貼付け枚数を変えてください。
厚み<8 . . . 3枚重ね
8 ≤ 厚み<12 . . . 2枚重ね
12 < 厚み ≤ 16 . . . 1枚



※廻縁のない納まりの場合は
上端部のタイト材は取付け不要です。

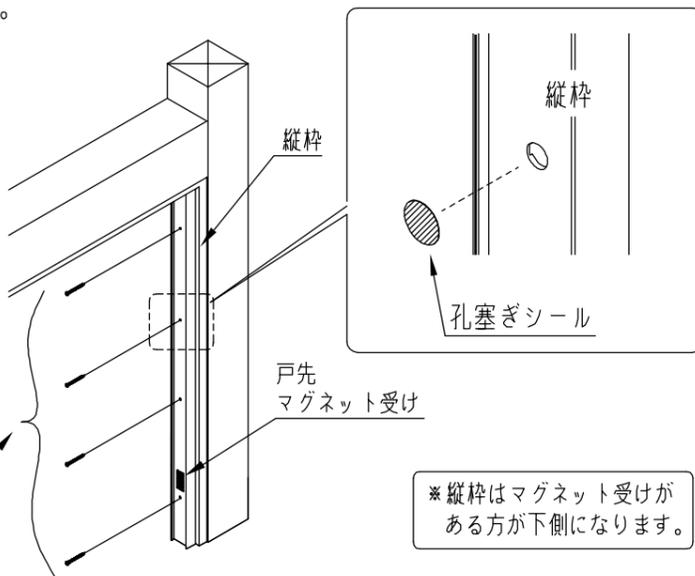


- 1-4 図のようにマグネット受けが付いている方を下側にし、縦枠下面を基準にして付属のビスで取付け
縦枠取付ビス孔に孔塞ぎシールを貼付けてください。
貼り付けタイプの枠なので組立を行いません。
縦枠→上レールの順に取付けてください。

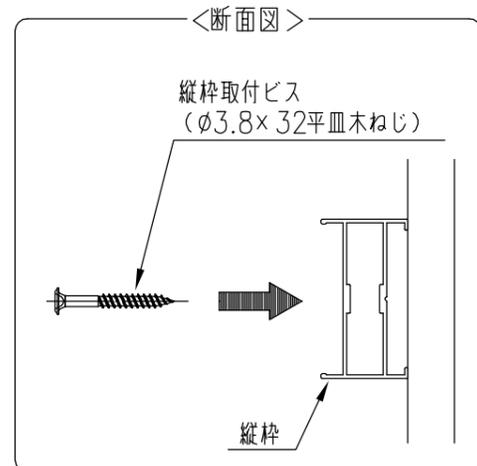
お願い

ビスの締め付けはクラッチ付きの
ドライバーを使用してください
(締め付けトルク2.5N・m以下)

縦枠取付ビス
(φ3.8×32平皿木ねじ)

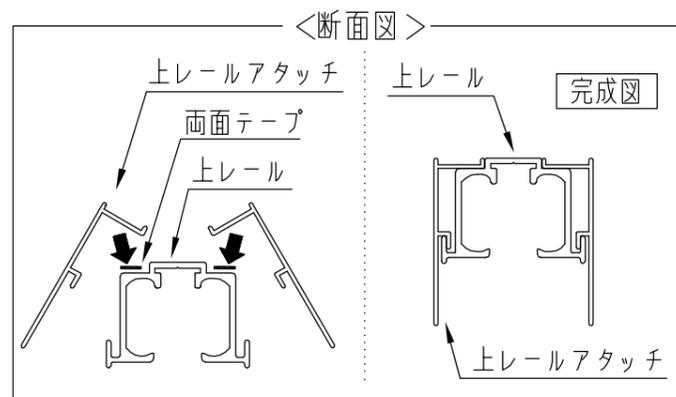
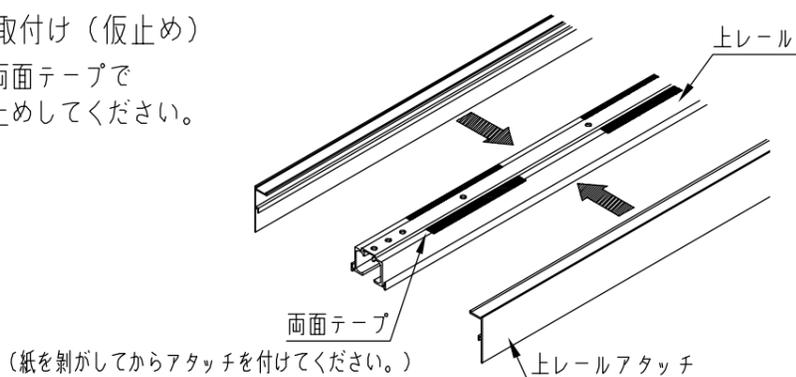


※縦枠はマグネット受けが
ある方が下側になります。



2 上レールアタッチの取付け (仮止め)

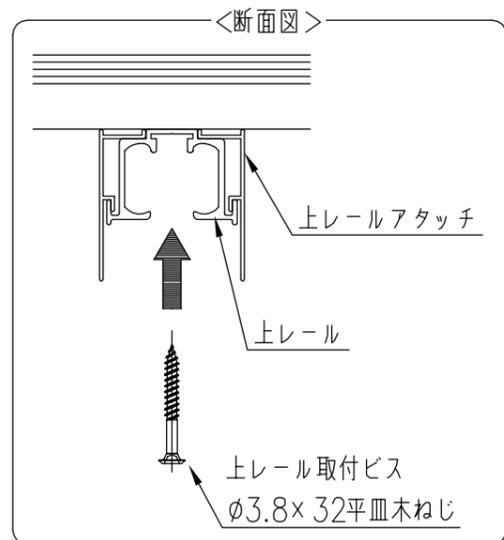
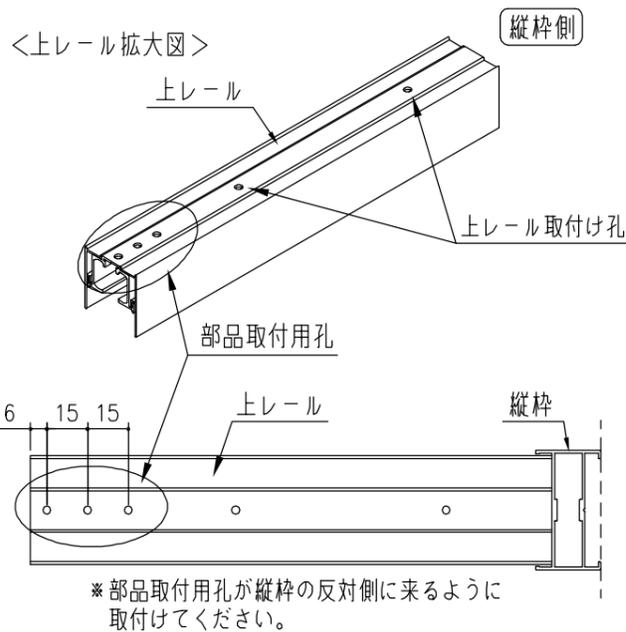
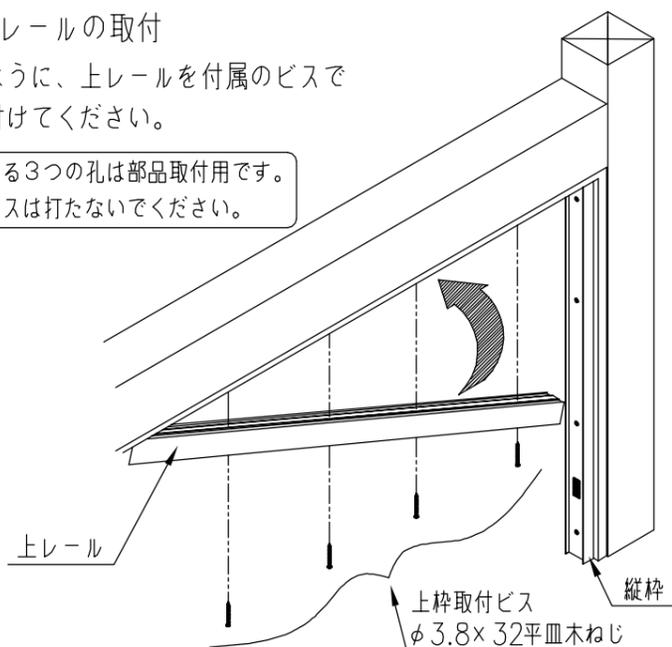
上レールに付いている両面テープで
上レールアタッチを仮止めしてください。



3 上レールの取付

図のように、上レールを付属のビスで
取り付けてください。

※端部にある3つの孔は部品取付用です。
枠取付ビスは打たないでください。

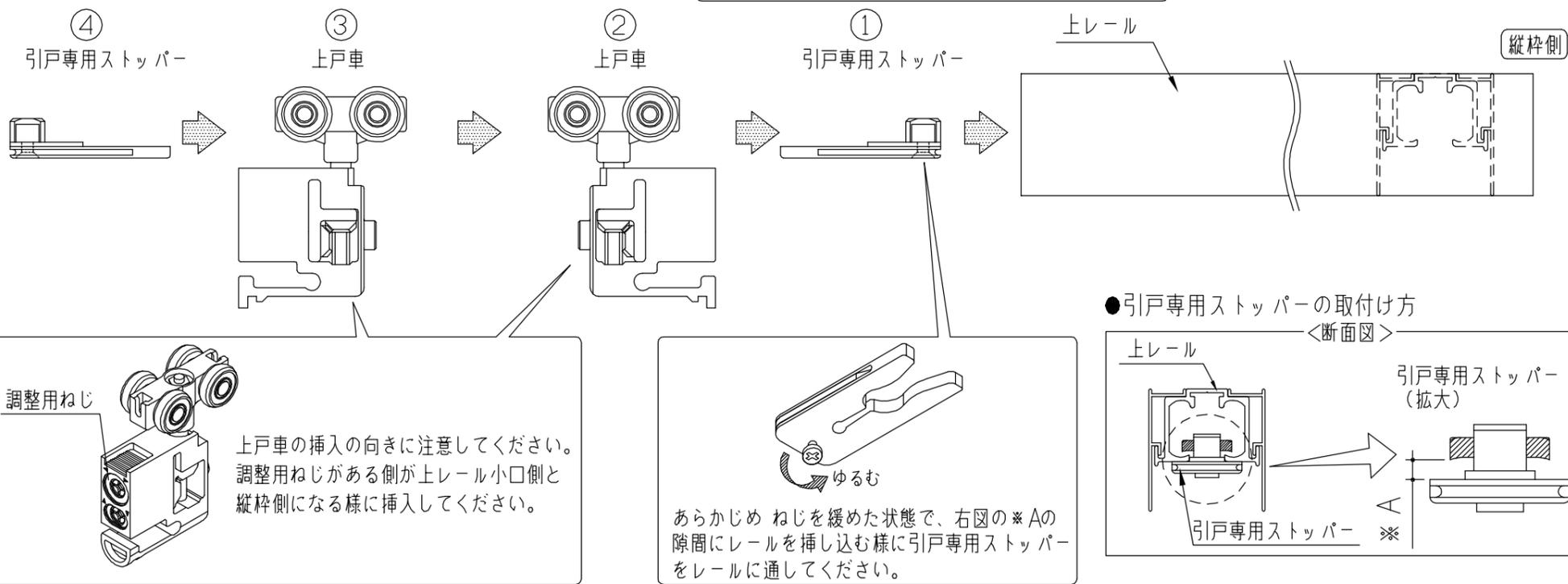


4 上戸車・引戸専用ストッパーの取付

上レールに上戸車と、引戸専用ストッパーを各2個ずつ
縦枠と逆側から下図を参考に部品の向き・順番に注意して取り付けてください。

お願い

上戸車と引戸専用ストッパーの取付を忘れると本体の
建て込みが出来ませんので、必ず取付けてください。



■ ストッパーの取付

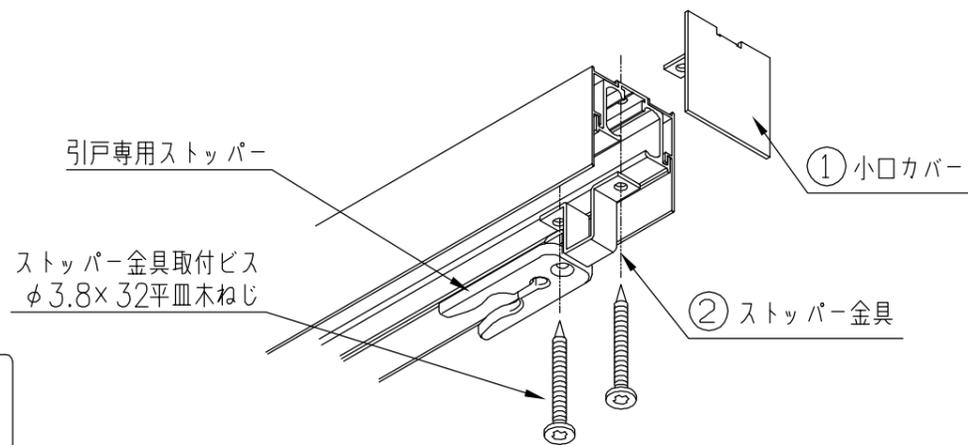
1 小口カバー・ストッパー金具の取付

小口カバー側

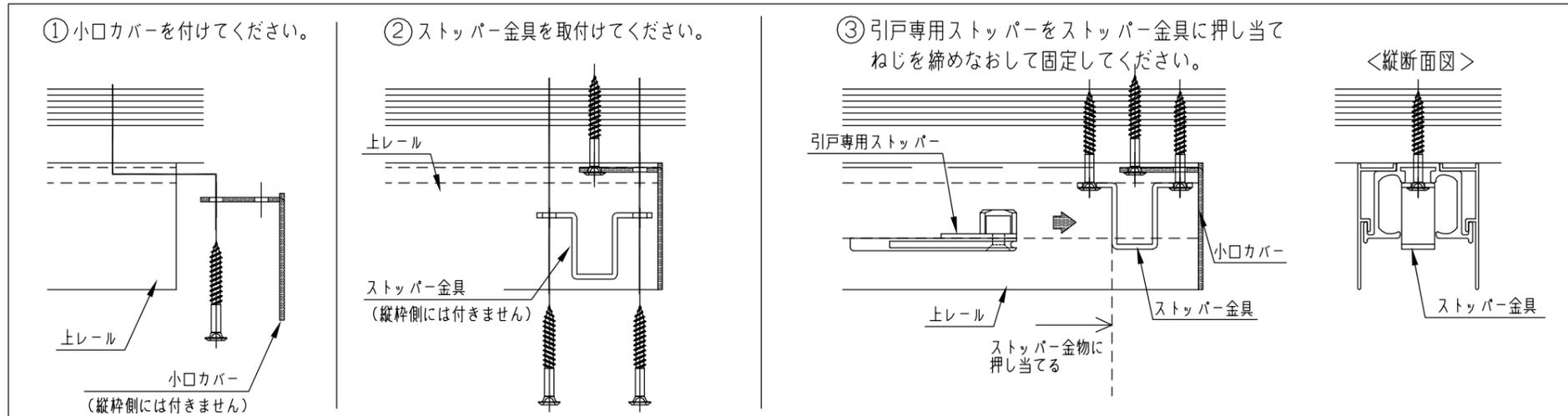
縦枠、上レールを躯体に取付けた後、上レール端部のビス孔に合わせて

① 小口カバー、② ストッパー金具 の順で取付けてください。

(※ 仮止めしてある引戸専用ストッパーは、一度ずらしストッパー金具を
取付けた後にストッパー金具に押し当てる様にしっかり固定してください。)



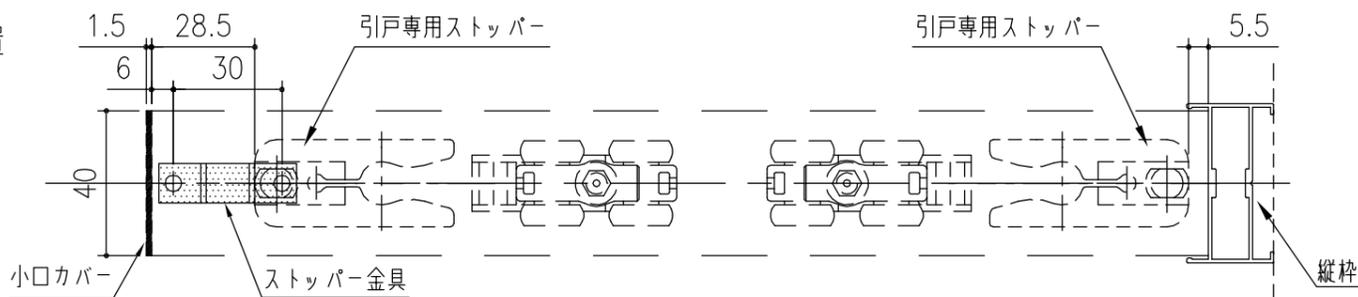
お願い 必ず上戸車と専用ストッパーの取付が終わり、上レールを
開口部に取付けた後に小口カバー・ストッパー金具を取付けてください。



縦枠側

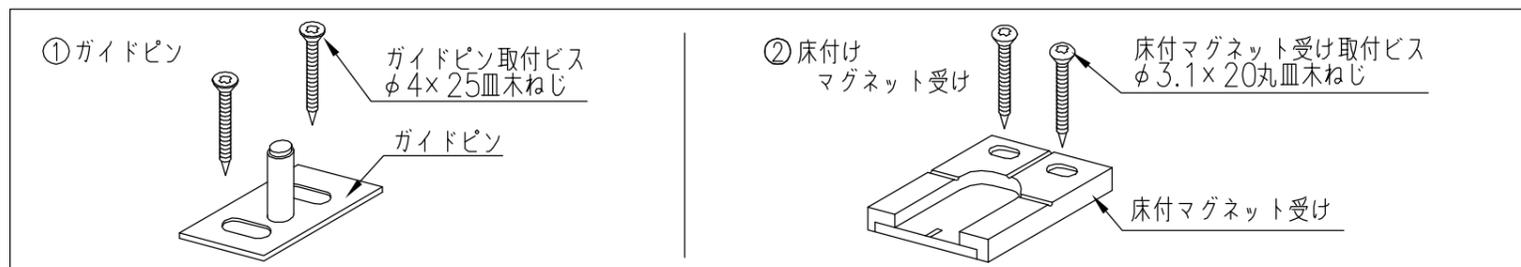
縦枠側上レール端部から5.5mmの位置に引戸専用ストッパーのねじを締めなおして固定してください。

■ 引戸専用ストッパー・ストッパー金具の取付位置



2 ガイドピンと床付マグネット受けの取付

ガイドピン・床付マグネット受けを取付位置にセットして
付属のビスで取り付けてください。



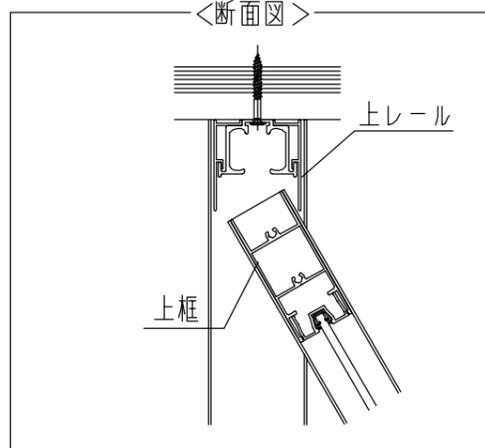
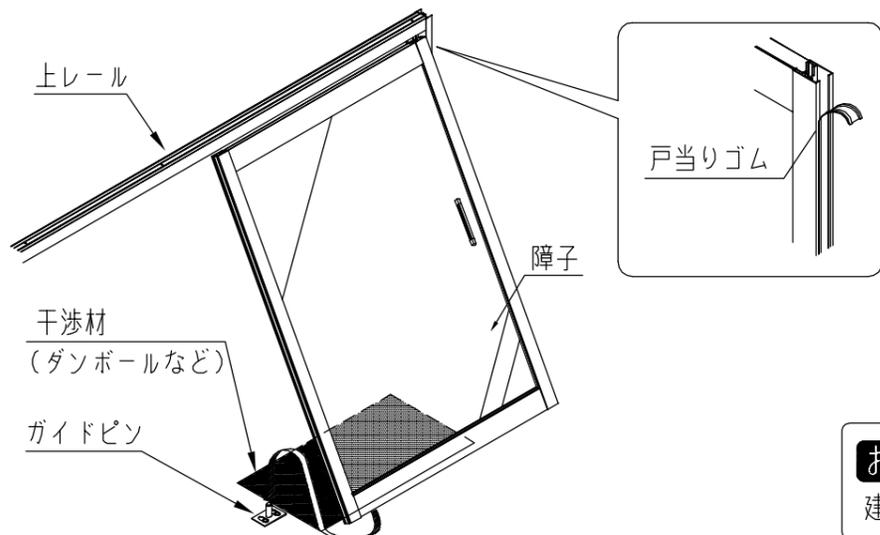
部品の取付け位置は後述の■取付位置寸法例を参照ください。(MI-1471C表)

障子の建て込み

1 障子の建て込み

※縦枠側に引手があるようにしてください。

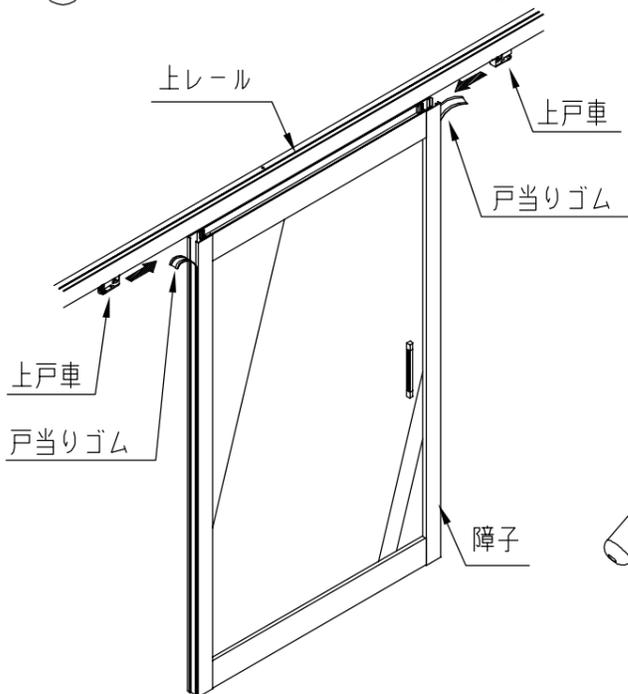
- ① 障子を持ち上げて上レールにのみ込ませた後、障子持ち上げたまま下框の溝にガイドピンを入れて障子を建て込んでください。
建て込み時、床が傷つくのを防止するために障子の下に干渉材を敷く事をお勧めします。
建て込む前に障子上部の戸当りゴムを事前にめくっておきますと作業が行い易くなります。



お願い

建込時に引手の位置及び向きに気を付けて障子の建込みを行ってください。

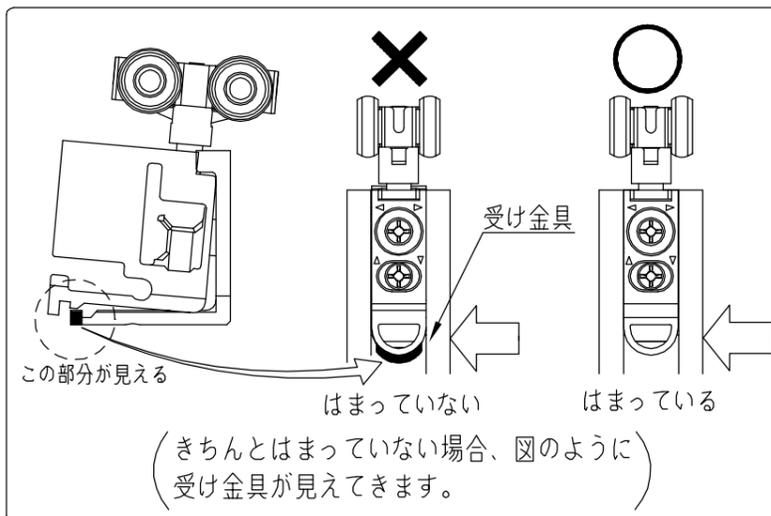
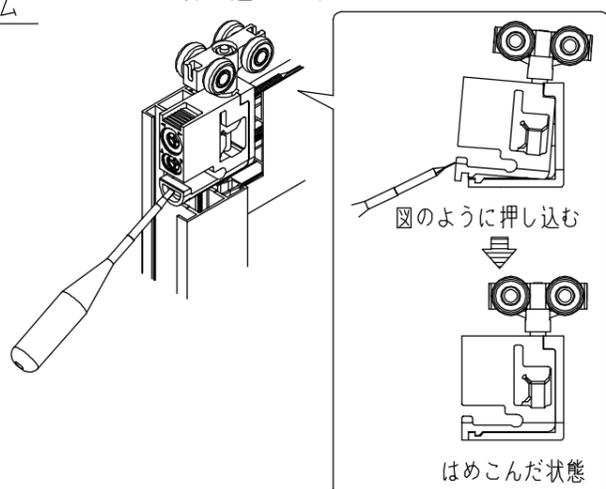
- ② 戸当りゴムをめくり上戸車を障子に差し込んでください。



お願い

上戸車の差込みが甘いと障子脱落の恐れがあります。
手ごたえがあるまで差し込んでください。図を参考にして、確認してください。

※上戸車の下端をマイナスドライバーで押し込んでください



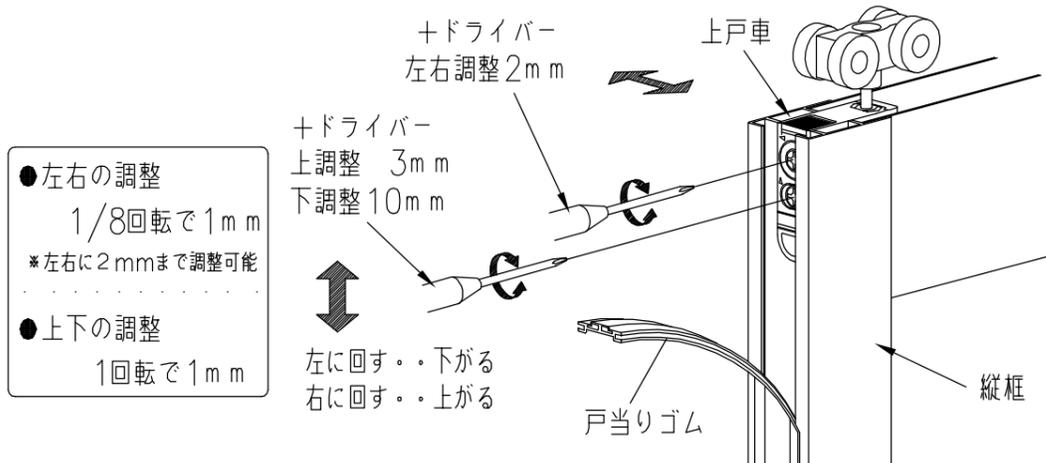
調整

1 上戸車の調整

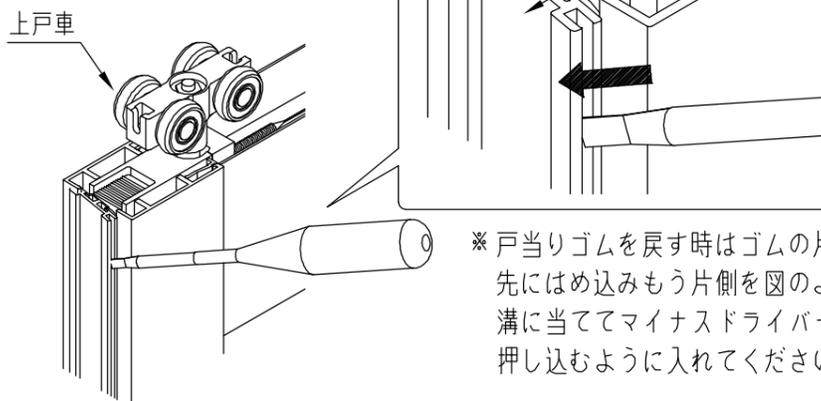
お願い

※調整時には絶対、電気ドライバーは使わないでください。

- ① 障子本体を取付け後、上下のチリが合っていない場合は戸当りゴムを剥がして図のように上戸車の調整ねじを回して上下のチリを調整してください。
② 上下のチリを調整後、戸当りゴムを元に戻してください。



- 左右の調整
1/8回転で1mm
※左右に2mmまで調整可能
- 上下の調整
1回転で1mm
左に回す・・・下がる
右に回す・・・上がる

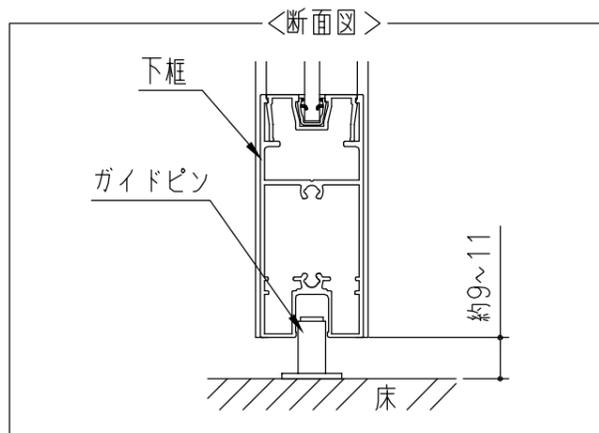


※戸当りゴムを戻す時はゴムの片側を先にはめ込みもう片側を図のように溝に当ててマイナスドライバー等で押し込むように入れてください。

●床と下框のクリアランスについて(※B)

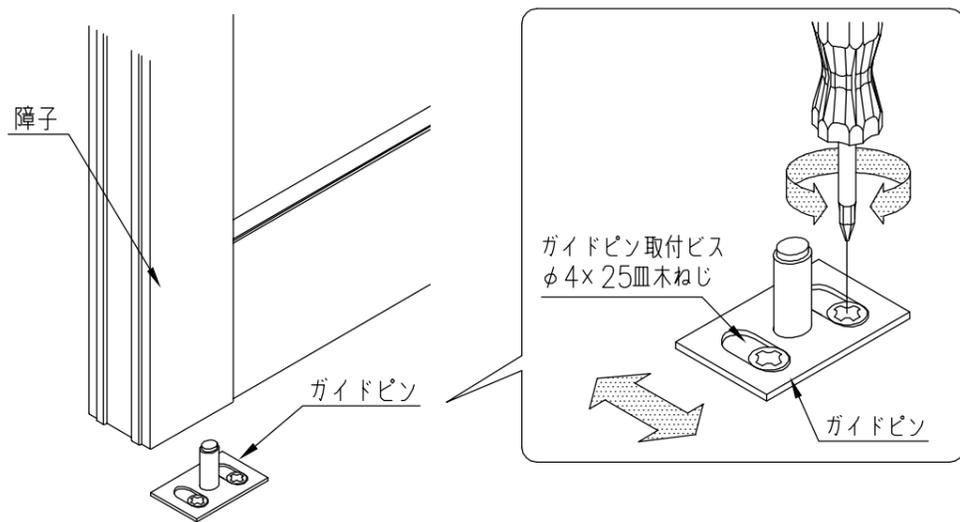
※ 上戸車の設定を障子を一番上げた状態で設定しています。
障子の高さ調整時の目安として右図(※B)のように床と下框のクリアランスを約9~11mmになる様に必ず障子の高さ調整をしてください。

・11mmより広がっているとガイドピン・連動ガイドピンが障子から外れてしまう恐れがあります。



② ガイドピンの調整

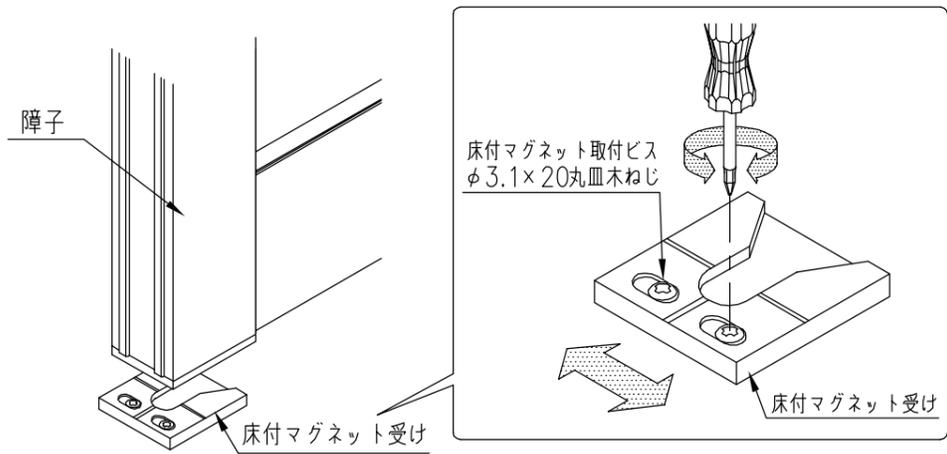
ガイドピンを止めているねじをゆるめ、ガイドピンを前後に動かして調整してください。



③ 床付マグネット受けの調整

床付マグネット受けは前後に調整できます。

床付マグネット受けを止めているねじを緩めて前後に調整してください。位置が決まりましたら、再度2本のねじを締めてください。

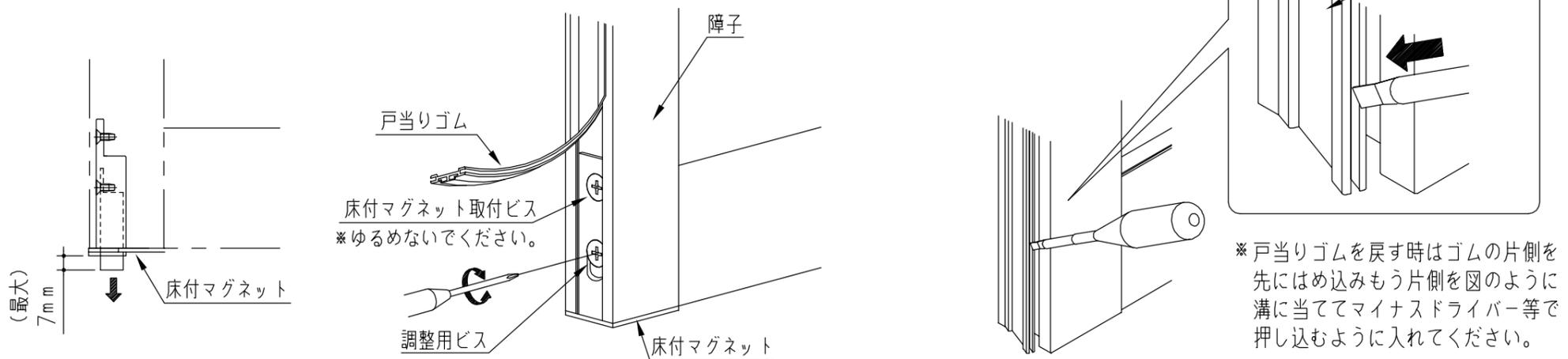


④ 床付マグネットの調整

マグネットが落ちないようにしたら マグネットが落ちる位置までマグネットの出寸法を調整してください。

初期設定は0で設定していますので 下に7mmまで出す事が出来ます。

調整方法は下側のねじを緩めて マグネットが落ちる位置で締め直してください。



■ 取付位置寸法例

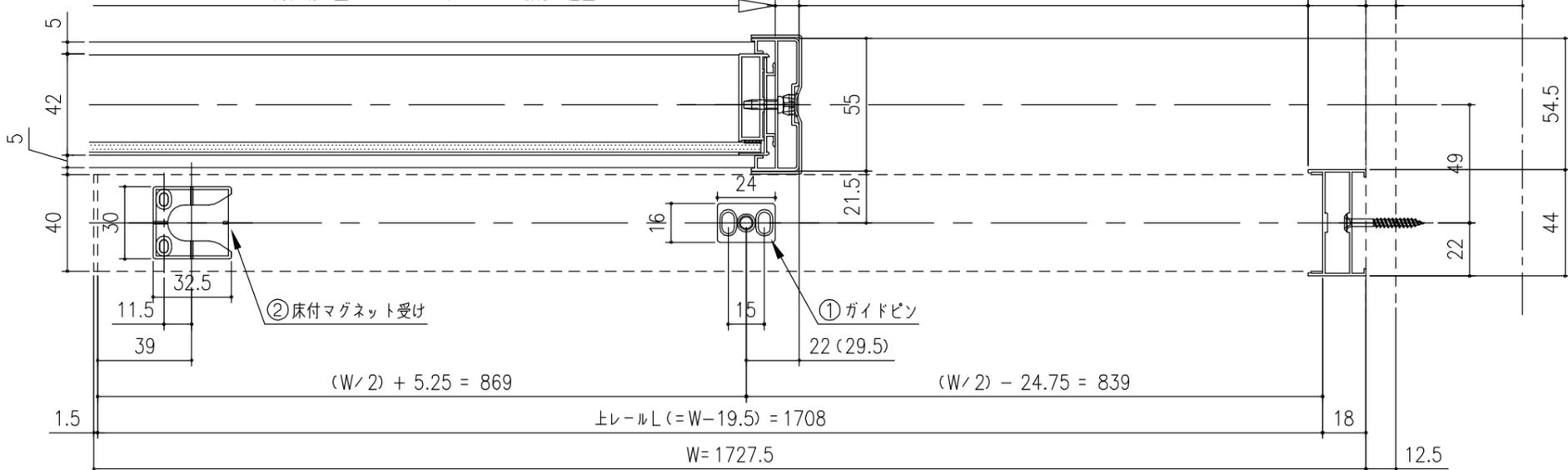
・尺モジュール / 柱：105角 / 壁厚12.5 の場合 ※ () 内寸法は柱：120角時寸法

(間仕切り壁W押さえ)

(間仕切り壁 上レール・下ランナー取付け位置)

有効開口：811 (803.5)

24 12.5 52.5 (60)



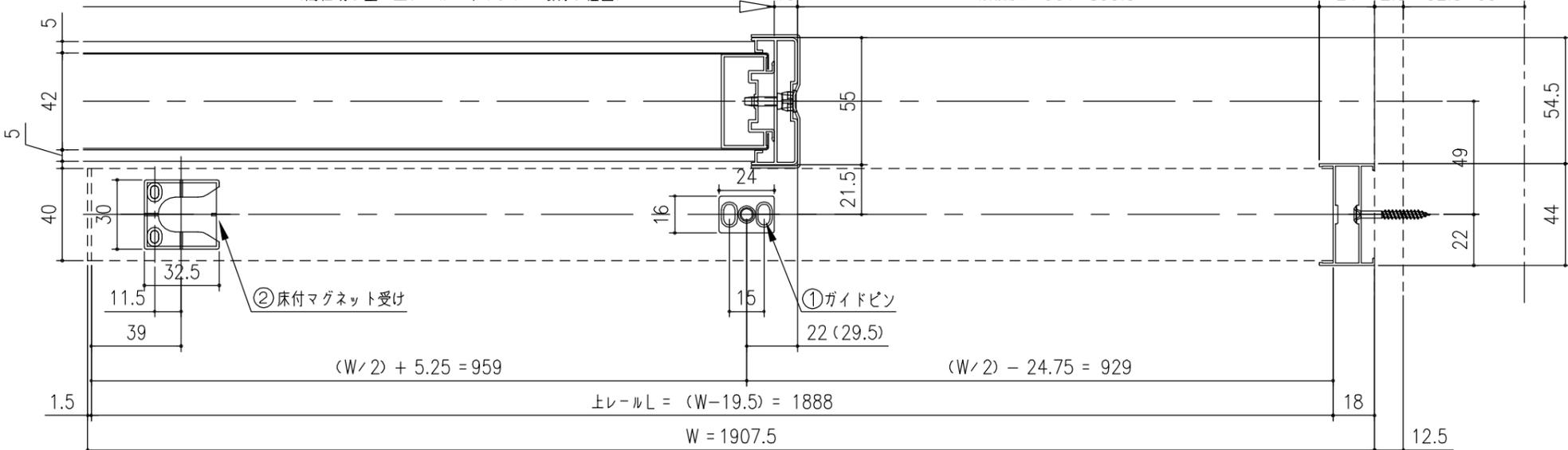
・メーターモジュール / 柱：105角 / 壁厚12.5 の場合 ※ () 内寸法は柱：120角時寸法

(間仕切り壁W押さえ)

(間仕切り壁 上レール・下ランナー取付け位置)

有効開口：901 (893.5)

24 12.5 52.5 (60)

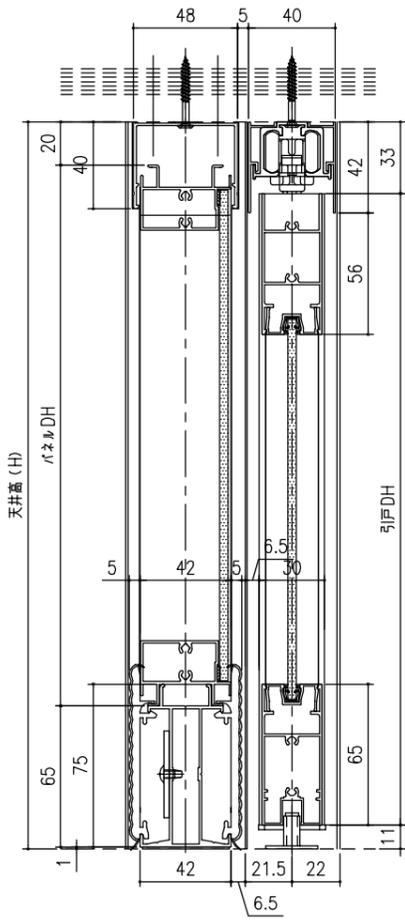


■ 基本納まり図

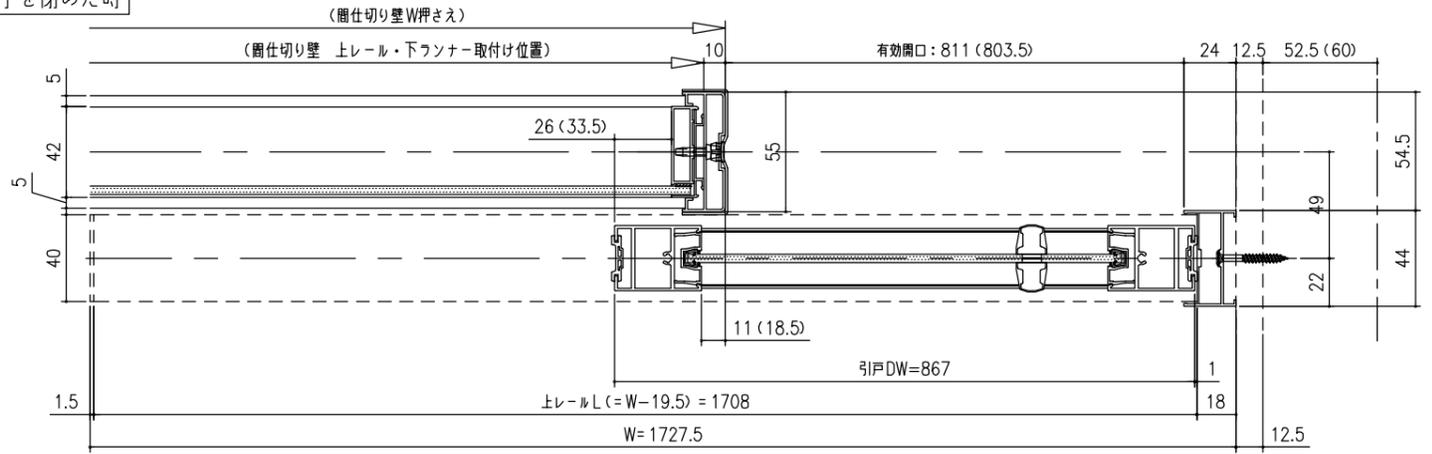
・尺モジュール / 柱：105角 / 壁厚12.5の場合 ※ () 内寸法は柱：120角時寸法

お願い 『可変間仕切壁』がシースルーパネルの場合は、必ず推奨納まり（基本納まり図のパネル向き）での施工をお願い致します。
（ご使用方法によっては、指を挟むおそれがあります。）

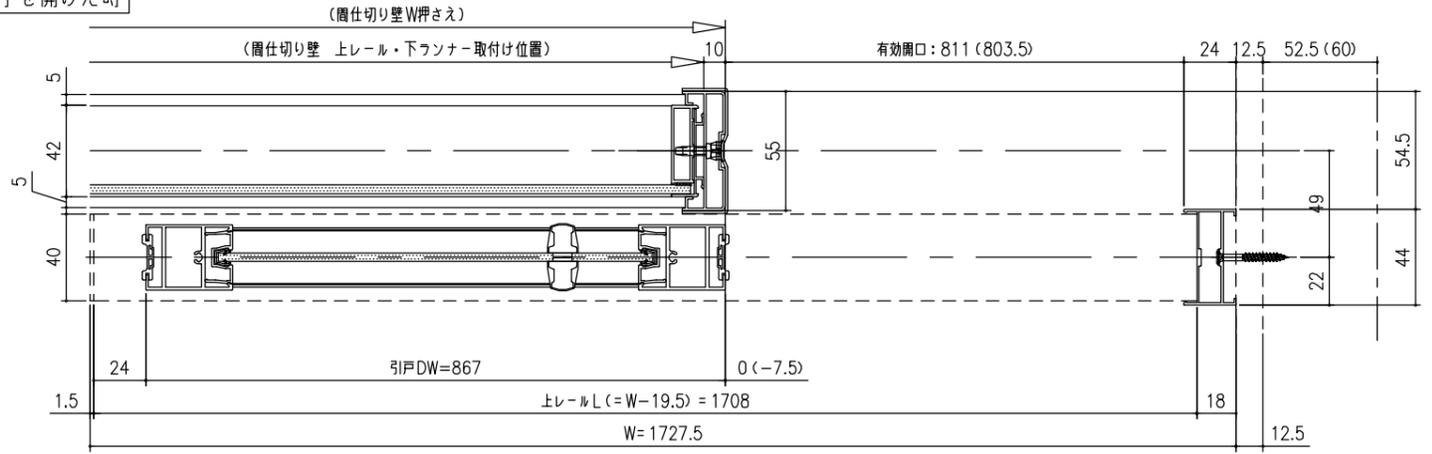
説明書番号
MI-1471C
裏 改-1



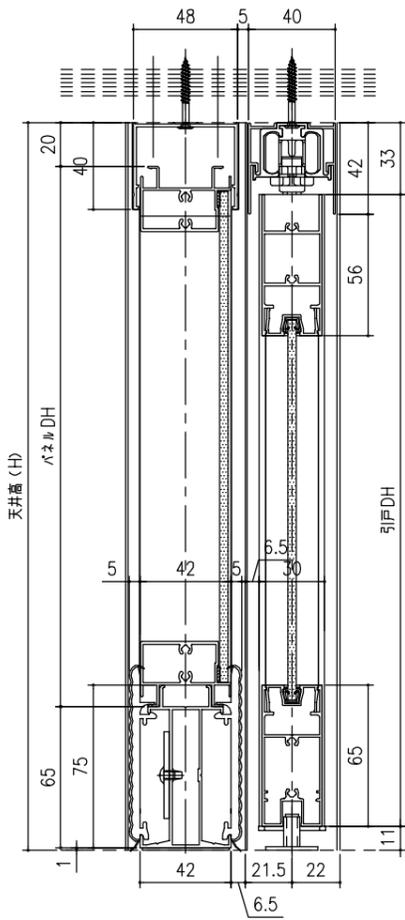
障子を閉めた時



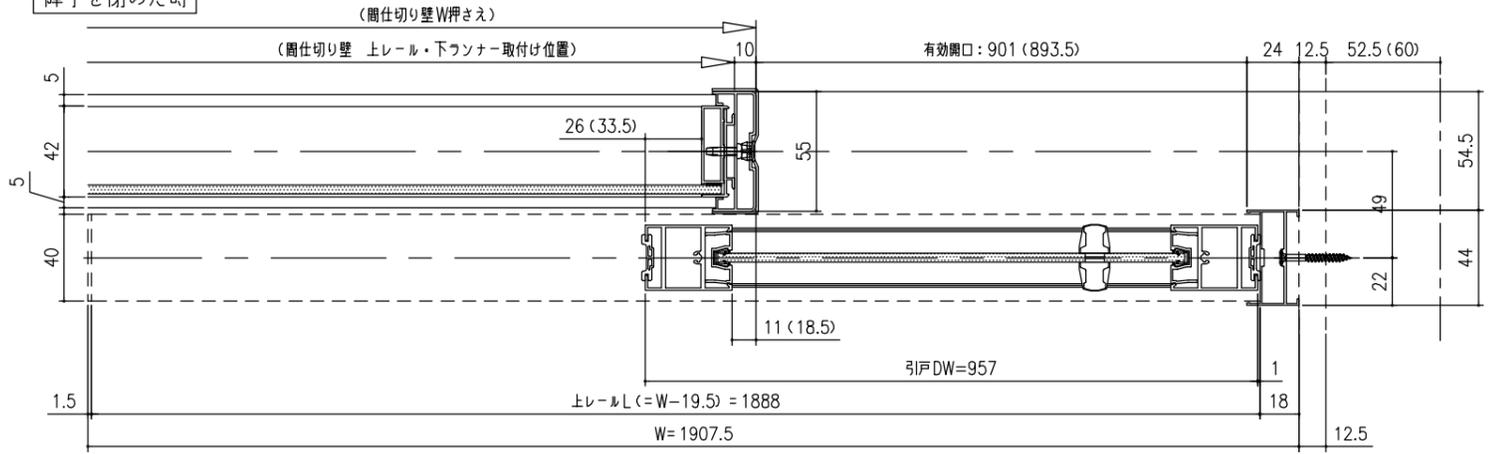
障子を開けた時



・メーターモジュール / 柱：105角 / 壁厚12.5の場合 ※ () 内寸法は柱：120角時寸法



障子を閉めた時



障子を開けた時

